

2024年（令和6年） 研究業績

講座・研究室名： 食と生殖機能先端研究講座

所属長・責任者名： 河村 和弘

開設の目的・概要 等			近年の社会構造の変化による晩婚化の影響で、高齢不妊患者が急増しており、喫緊の課題となっている。最近の生殖医学研究では、不妊患者の卵子に対するアンチエイジング作用や受精卵の着床促進作用、造精機能の改善作用を示す可能性のあるサプリメントが見出されており、より有効な不妊治療法の開発のみならず、自らできる不妊治療・予防法への貢献に期待が高まっている。しかし現状多くの高齢不妊カップルが摂取している妊活サプリメントの中には有効性・安全性について懐疑的なものも多く、至適な摂取量や摂取方法も未確定なまま摂取されていることが多くある。本講座では不妊の改善に寄与するサプリメントに関して、株式会社パートナーズと順天堂大学による共同研究により、高齢不妊カップルにとって有効なサプリメントの開発を目指す。		
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
英文原著	1		Sakamoto I, Shibuya S, Nojiri H, Nishimune H, Takeno K, Yaku K, Nakagawa T, Ishijima M, Shimizu T,Mitochondrial redox status regulates glycogen metabolism via glycogen phosphorylase activity,Antioxidants,2024,13(11):1421	10.3390/antiox13111421	
英文原著	2		Shibuya S, Watanabe K, Sakuraba D, Nagata T, Yamaguchi Y, Suzuki Y, Shimizu T,Geraniol intake improves age-related malnutrition in mice,Geriatr Gerontol Int,2024,24(11):1233-1240	10.1111/ggi.14982	
区分	番号	—	発表者名,発表タイトル（題目・演題・課題等）,学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国際学会発表	1		Kawamura K,Left right differences in ovarian reserve in patients with diminished ovarian reserve,the XVIII International Congress on Reproductive Medicine,Russia,January ,2024		
国際学会発表	2		Kawamura K,Infertility treatment in patients with reduced ovarian reserve using in vitro follicle activation,Alpha IVF & Woman's Specialists,Malaysia,February 21,2024		
国際学会発表	3		Kawamura K,Ovarian rejuvenation: current and future,Congress of the Association of Reproductive Medicine of Uzbekistan "Reproductive technologies - the path to a new life" ,Uzbekistan,May 2,2024		
国際学会発表	4		Kawamura K,Does Platelet rich plasma (PRP) rejuvenate ovarian functions?,the XXXVII International Congress with Endoscopy Course “New Technologies for Diagnosis and Treatment of Gynecologic Diseases”,Russia,June 5,2024		
国際学会発表	5		Kawamura K,In Vitro Activation – Current Trends and the Future,Malaysian Society of Assisted Reproductive Technology (MSART),Malaysia,October 5,2024		
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号 ,DOI	DOI	国際共同
和文原著	1		柳原康穂, 川崎優,北出真理, 河村和弘, 村上圭祐, 岡田由貴子, 落合阿沙子, 武内詩織, 吉田司, 板倉敦夫,当院での腹腔鏡下手術後に小腸の嵌頓ヘルニア・絞扼性イレウスを起こしたポートサイトヘルニアの3例,東京産科婦人科学会誌,2024;73(2): 168-174	Y509290004	
和文原著	2		小林未央, 北原慈和, 杉下陽堂, 大須賀智子, 北島道夫, 河村和弘, 浅田義正, 岩瀬明,他機関共同研究による卵巣予備能低下症例の不妊治療成績,日本生殖医学会雑誌,2024,69(4): 417-417	YA25410304	
和文原著	3		桜庭大樹, 澁谷修一, 渡辺憲史, 阿部卓哉, 大平はる香, 山本貴司, 野口直人, 永田岳史, 山口芳正, 清水孝彦,クルクミン, イチョウ葉エキス, L-カルニチン, ヒハツエキス, アスタキサンチン配合食品およびチオレドキシン含有清酒エキスは老化モデルマウスの皮膚萎縮を改善する,Functional Food Research,2024,20: 62-69	—	
区分	番号	—	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号 ,DOI	DOI	国際共同
和文総説	1		河村和弘,早発卵巣不全の不妊治療への挑戦－基礎から臨床研究まで,実験医学,2024;42(3) 425-429	10.18958/7407-00001-0001147-00	
和文総説	2		小林睦, 河村和弘,生殖細胞の培養,臨床婦人科産科,2024;78(11) 1040-1046	https://doi.org/10.11477/mf.1409211372	

和文総説	3		澁谷修一, 渡辺憲史, 清水孝彦,マトリックスメタロプロテアーゼによる細胞外マトリックス調節と老化疾患,Functional Food Research,2024,20: 29-34	–	
区分	番号	–	全著者名,書籍名,出版社名, 出版年, ページ番号等	DOI	国際共同
和文著書	1		金原出版 産婦人科の実際編集室 (著) 桑原慶充 (企画) ,産婦人科の実際 2024年11月臨時増刊号(73巻 11号) フローチャートでわかる 婦人科外来診療パーフェクトブック,2024/11,354-360		
区分	番号	–	発表者名,発表タイトル(題目・演題・課題等),学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国内学会発表	1		河村和弘,卵巣機能を考慮した子宮内膜症の治療の工夫 Overview,第45 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会,東京,2024年1月20日		
国内学会発表	2		河村和弘,PRPの生殖領域への臨床応用,第19回日本A-PART 学術講演会,東京,2024年3月10日		
国内学会発表	3		小林未央, 北原慈和, 杉下陽堂, 大須賀智子, 北島道夫, 河村和弘,浅田義正, 岩瀬明,多機関共同研究による卵巣予備能低下症例の不妊治療成績,第76回日本産科婦人科学会学術講演会,神奈川,2024年4月20日		
国内学会発表	4		吉田司, 太田えりか, 平田哲也, 河村和弘,エストロゲン受容体陽性乳癌患者に対する, タモキシフェン併用調節卵巣刺激の有用性 ～システムティックレビュー/メタアナリシスによる検討～,第65回日本卵子学会学術集会,兵庫,2024年5月18日		
国内学会発表	5		田中佑佳, 辰巳嵩征, 鳴海寛志, 深見真紀, 石塚文平, 河村和弘,多腺性自己免疫症候群 (Autoimmune polyglandular syndrome: APS) I 型の姉妹における表現型の多様性,第65回日本卵子学会学術集会,兵庫,2024年5月18日		
国内学会発表	6		小林睦, 小林美里, 塩田敏博, 北出真理, 板倉敦夫, 河村和弘,ヒト内在性レトロウイルスKは胚性ゲノム活性化マーカーになり得る,第65回日本卵子学会学術集会,兵庫,2024年5月19日		
国内学会発表	7		吉田茉央, 森井奏, 早川実, 山中麻帆, 佐藤勝祥, 渡邊潤, 河村和弘, 小林仁, 横尾正樹,ウシ多血小板血漿の調製と卵胞発育作用に関する研究,第73回東北畜産学会青森大会,青森,2024年8月29日		
国内学会発表	8		村上一馬, 谷輪厚太, 坂口嘉紀, 泉尾直孝, 花木瑞穂, 川瀬泰司, 廣瀬賢治, 清水孝彦, 入江一浩,青ジソに含まれるアミロイドβ42のオリグマー形成阻害物質の作用機構とマウスにおける生体内代謝,第66回 天然有機化合物討論会,京都,2024年9月5日		
国内学会発表	9		金沢理菜, 正村渚沙, 佐藤勝祥, 山中麻帆, 渡邊潤, 小林仁, 河村和弘, 横尾正樹,卵巣内未成熟卵胞発育におけるメカノトランスダクション機構の解析,第117回日本繁殖生物学会大会,愛知,2024年9月22日 - 2024年9月25日		
国内学会発表	10		田中佑佳, 佐藤可野, 石塚文平, 河村和弘,Platelet-Rich Plasma (PRP) による効果的な卵胞発育誘導: 改良と個人差の評価,第29回日本生殖内分泌学会学術集会,秋田,2024年10月26日		
国内学会発表	11		佐藤可野, 川越雄太, 木村雄亮, 池内真志, 河村和弘,マイクロニードルを用いたメカノトランスダクションによる卵胞発育誘導,第29回日本生殖内分泌学会学術集会,秋田,2024年10月27日		
国内学会発表	12		郭子嘉, 石塚文平, 河村和弘,高感度AMH検査を用いた早発卵巣不全患者の卵胞発育予測,第29回日本生殖内分泌学会学術集会,秋田,2024年10月27日		
国内学会発表	13		小林未央, 北原慈和, 杉下陽堂, 大須賀智子, 北島道夫, 河村和弘, 浅田義正, 岩瀬明,他機関共同研究による卵巣予備能低下症例の不妊治療成績,第29回日本生殖内分泌学会学術集会,愛知,2024年11月14日		
国内学会発表	14		柳原康穂, 瀬川将史, 武内詩織, 小林睦, 落合阿沙子, 川崎優, 村上圭祐, 河村和弘, 北出真理, 板倉敦夫,生殖可能年齢の患者における付属器茎捻転に対する卵巣温存手術の検討,第69回日本生殖医学会学術講演会・総会,愛知,2024年11月14日		
国内学会発表	15		井原基公, 佐藤可野, 岡馬恵介, 川越雄太, 石塚文平, 長瀬健一, 池内真志, 河村和弘,卵巣組織移植におけるVEGF徐放剤の有効性の検討,第69回日本生殖医学会学術講演会・総会,愛知,2024年11月14日		
国内学会発表	16		小林睦, 板倉敦夫, 河村和弘,ヒト始原生殖細胞様細胞の放出するウイルス様粒子は内在性レトロウイルスmRNAを包含する,第69回日本生殖医学会学術講演会・総会,愛知,2024年11月14日		
国内学会発表	17		武内詩織, 北出真理, 瀬川将史, 柳原康穂, 小林睦, 落合阿沙子, 川崎優, 村上圭祐, 河村和弘, 板倉敦夫,手術施行時期による子宮内膜症性卵巣嚢胞破裂症例に対する腹腔鏡手術成績の検討,第69回日本生殖医学会学術講演会・総会,愛知,2024年11月15日		

区分	番号	—	講演者名, 講演タイトル, 学会名, 場所, 発表年月日等	DOI	国際共同
特別講演・招待講演	1		河村和弘,高齢不妊とアンチエイジング,一般社団法人日本抗加齢医学会 専門医・指導士認定委員会講習会 基礎・受験編,東京,2024年2月4日		
特別講演・招待講演	2		河村和弘,メディカルおよびノンメディカルな卵子凍結,令和6年度第1回母体保護法指定医師研修会,東京,2024年5月12日		
特別講演・招待講演	3		河村和弘,卵巣機能不全の克服を目指した基礎から臨床研究,第65回日本卵子学会学術集会,兵庫,2024年5月19日		
特別講演・招待講演	4		河村和弘,産婦人科分野：染色体異常に伴うDSD, Turner 症候群を中心に,第97回日本内分泌学会学術総会,神奈川,2024年6月6日		
特別講演・招待講演	5		河村和弘,卵巣の機能維持とrejuvenation,第97回日本内分泌学会学術総会,神奈川,2024年6月7日		
特別講演・招待講演	6		河村和弘,教育講演 4「Ovarian Rejuvenation」,第27回日本IVF学会学術集会,東京,2024年10月6日		
特別講演・招待講演	7		泉尾直孝, 清水孝彦,インスリン抵抗性とアルツハイマー病,第97回日本生化学会大会,横浜,2024年11月7日		
特別講演・招待講演	8		清水孝彦,ミトコンドリア機能による核ラミナ制御機構,第47回日本分子生物学会集会,福岡,2024年11月28日		
特別講演・招待講演	9		岡本直樹, サプリメントを用いたAging不妊対策, せとうちART研究会, 松山, 2024年4月7日		
区分	番号	—	発明者名, 発明の名称, 出願番号	DOI	国際共同
知的財産権の出願・取得等	1		河村和弘, 川越雄太,卵子、受精卵又は胚の質改善剤,特許10-2628772		
知的財産権の出願・取得等	2		河村和弘,川越雄太,佐藤可野,組織幹細胞の老化抑制剤,特願2024-056858		
知的財産権の出願・取得等	3		Kazuhiro Kawamura, Yorino Sato,OVARIAN TISSUE TRANSPLANTATION METHOD AND FOLLICLE ACCTIVATIO METHOD;12,115,278		